

道

2024年4月1日
(第109号)

宮田橋／小田川



高校の同窓生H君から日本酒が届いた。その箱に「内祝」とある。ん？ すぐ電話した。なんと、再婚したという。「籍を入れて、今は通い婚なんだ」。まずは「おめでどう」と言ったものの、後の言葉が出て来ない。電話が「新妻」にかわる。明るく若々しい優雅さを感じさせる声。「はじめまして」「よろしくお願いします」。僕は、おろおろ、ぎこちない。▼彼は高校の頃から何か小粋にきまっていた。僕と違って女友だちも多かったのだろう。文通相手の紹介を受けたことがあった(手紙のやり取りを重ねて一回だけデートしたが、その後で文通は途絶えた)。僕が四〇歳代で東京勤務の時には銀座のライブハウスで彼との再会を祝した。卒業後に「富士通」に勤めただけあってパソコンなどに詳しい。今は、僕の電子機器が不調な時の相談相手であり、無償で修理もしてもらおう。クラス会を開くときはいつも一番に連絡をとる。彼が家族と離れて一人で暮らしていると知ったのは、どれくらい前だったろうか。そこに女性の存在を勝手に想像した。病気で大きな手術をしたとも聞いた。いろんな意味で身近で大切な友だ。▼結婚を心から祝いたい(正直なところ、うらやましい気持ちがないわけではないが)。H君は、昔も、今も、格好いい。七十二歳。「今」を大事に生きる。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話：090-5366-1497

メール：michi-care@outlook.jp

ホームページ：https://michi-care.jimdo.com/

〈道〉LINE：https://lin.ee/zCG7Iyp



林道也



棕の木 (真備町箭田 遠田地区)